

Newsletter from the Principal's Desk

自らの賜物を 最大限に活かし 拓かれた未来へ

No. 8

Monday, Jun 2, 2025

函館市杉並町23-11

遺愛女子中学校高等学校

テストの後にすべきこと

先週、今年度最初の定期テストである「前期中間テスト」が終了しました。今日から続々と答案用紙が帰ってくると思います。

テスト前に勉強することの重要性はみんなが知っていることだと思います。だから、テストが近づいてくると、みんな一生懸命に勉強します。でも、テストの後の重要性をみなさん意識していますか？

テストが終わった後のとりくみは、ある意味、テスト前の勉強よりも重要です。

ダメなパターン

できの良かった教科に喜んで、上手いかなかった教科で悲しんで、それだけで終わる。

このように、定期テストでも模擬試験でも、「一喜一憂でおわる」のが最悪のパターンです。なぜなら、そういう人は次のテストも同じことをくりかえし、いっこうに実力が向上しないからです。成績が伸びない人の特徴ははっきりしています。

- ①丸暗記式の勉強ばかりしている。
- ②最後まで答えを出す努力をしないで、解答をすぐ見ようとする。
- ③表面的に理解しただけでわかったつもりになっている。

答案返却のときに「正解答」を確認することは、みなさんやっていることだと思います。しかし、その後、自力で「それ」に行きつけることまでを確認している人は非常に少ないと思います。自分の中にこうした傾向を発見したら、ぜひこの機会に修正しましょう。つまり、今、以下のことをやればよいのです。

希望進路実現のため(成績アップのため)今すべきこと

- ①「一喜」は確認へ→本当にわかっているか？「不十分」を残していないか？
- ②「一憂」は復習へ→次に同じ問題が出たら確実に解けるようにする。
- ③「解きなおし」→失敗部分の原因を明確化し、次に向けて意識する。

テストで一番悔しい失敗は、「やったことがあるのに解けなかった！」「今やればできるのになぜかできなかった！」というケースです。これらはいずれも、まだ理解が浅いから発生する失敗です。「今すべきこと」にしっかりととりくめば、そうした失敗も確実に減っていきます。

「解きなおし」は「必提出」のクラス・教科もあると思います。その場合はしっかりととりくんでください。しかし、そうでない場合でも、自主的にやって、ぜひ教科担任の先生に提出しましょう。

愛吹コンサート in クイーン・エリザベス号

丸山梨沙子先生の報告です。

5/27(火)に2度目となる船内コンサートを、クイーン・エリザベス号内にある「ロイヤル・コート・シアター」にて開催させていただきました！

ステージはカラフルな電飾と照明で彩られ、客席は高級感のある絨毯が敷かれていました。2階席にはあのエリザベス女王が好んで座ったという席も。本当に海外に来てしまったかのような、非日常的な空間でした。

お客さんは来てくれるのだろうかと少々不安でしたが、開場前からワクワクして並んでくれるお客さんがいて、とてもありがたい気持ちになりました。また、入り口で愛吹オリジナルうちわを配布すると、とても喜んでくださり、帰国後家族へのお土産にしたいと言ってくれる方もいらっしゃいました。

開演後は大盛り上がり！ 拍手や手拍子、指笛や2回にわたるスタンディングオベーションなど、日本ではあまり見られないようなリアクションに生徒たちはとても心を動かされ、最後の曲では泣きながら吹いている局員もいました。

中島みゆきさんの「糸」では、遺愛の卒業生の野村麻瑚さんとK2Gの時兼紗英さんに登場していただき、日本舞踊と吹奏楽の珍しいコラボレーションステージを披露しました。ステージに華やかな振袖がよく合い、とても素晴らしいパフォーマンスになりました。

合唱「ふるさと」では、歌詞の意味がわからない方もいるはずなのに、多くのお客様が涙を流していました。言葉の壁を超えた音楽の力を確信した瞬間でした。

お世話になった函館港湾局の職員の方からは、「今までクルーズ船のショーを数多く見たけれど、今回の演奏会がNo.1だ！」と興奮して伝えてくれたお客様がいたとお聞きしました。本当に貴重で心に残る機会を頂けて、光栄に思います。この演奏会の開催に際し、ご尽力くださった全ての皆様、応援して下さった皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました！



5月31日 全校ボランティアでした！

5月31日、天気予報はあまり良くなかったのですが、テストを3時間終えたところで雨が降ってくる気配もなく、無事に全校ボランティアが実施となりました。

高校2・3年生の全員、高校1年生の有志メンバーで杉並町を中心とした近隣の清掃、中学のボランティア委員はキャンパス内の「笹狩り」、また、29人のみなさんでお花を植える活動も実施しました。

想像以上に街はキレイで、ごみもあまりなかったようですが、楽しみながら協力して清掃活動を行うことができました。



テストが終わって・・・やってみませんか？(あとふたつ)

1 デジタル・デトックス “Digital Detox”

デジタル・デトックスということばを聞いたことがありますか。スマートフォン、パソコン、SNSなどのデジタル機器の使用を「意図的」に制限し、心身のリフレッシュや生活習慣の見直しを図ることを言うそうです。定期テストが近づくと職員室に携帯を預けにくる生徒がいます。家にあると誘惑に負けるからというのです。

新聞に「中1娘の情報源は100% TikTokです」という記事がありました。私たちの毎日にはSNSがあたり前のように存在しています。Instagram、X（旧Twitter）、TikTok、LINE…その「あたり前」が、思いがけないトラブルや心の傷につながる可能性があります。

軽い気持ちで載せた写真が拡散されてしまった。結果、制服や通学路から学校や住所が特定された。グループLINEでの何気ない言葉が誰かを傷つけていた。“いいね”の数が気になって眠れないなどなど。
再度確認しますが、トラブルを防ぐために…

- ・顔、名前、制服がはっきり写っている写真は投稿しない。
- ・今どこにいるか、リアルタイムで投稿しない。BeReal. はとても危険。
- ・他人の写真や名前は、許可なく投稿しない。
- ・SNSは「公開日記」、しかも一生残ります。

インターネットの世界では、ほんの一言や一枚の写真が、一瞬で世界中に届いてしまいます。クロードのグループも、実はオープン、「誰にも見られていない」「友達だけ」は、SNSでは通用しないことを忘れないで。

2 興味関心・見聞の幅を広げる→特に読書！

5月17日の「高3進路保護者会」において駿台札幌校の新井智恵先生が素晴らしいお話をしてくださいました。どこをとっても良いお話ばかりだったのですが、印象的なエピソードをひとつ紹介します。

ある年のことです。早稲田大学の入試を受けに行った駿台の生徒たちが帰ってきました。「今年の英語は読みやすくて易しかった」といって、みんな上機嫌で戻ってきました。その中に浮かない顔の子が一人いました。彼は英語の能力が高く、模試ではいつもトップクラスの成績でした。ほかのみんなが「易しかった」と言っている英語の問題ですから、彼なら高得点間違いなしのはずです。しょんぼりしている理由を聞いてみました。すると、彼は「知らない単語があって、しかも何回も出てくるので、パニックになってしまった。」というのです。優秀な彼の知らない単語だというのだから、私が知っているわけないだろうなと思いながら、その単語を一応聞いてみました。彼の言った単語は「Beethoven」！

彼はつづけて「僕は高校時代音楽を選択してなかったの。」と言いました。この単語は確かに英和辞典に載っていないかもしれませんが、でも、そういう問題ではないように思います。

どれだけ英語や日本語の長くて難解な文章を読む力があっても、その中に書かれている「内容」に関する知識がなければ、本当の意味で「読む」ことはできません。いろいろな分野の基本的な知識や考え方を理解すること、最近話題になっている時事問題に通じておくことは、とても大切なことです。

テストを終えた今、興味関心の幅を広げる大きなチャンスです。今まであまり興味を感じてこなかった分野についても、ちょっと調べたり考えたりしてみましょう。どのような分野も、知れば面白いものです。

あともうひとつ、特に3年生のみなさんには覚えておいてほしいことがあります。共通テストの問題等、大学入試の問題はそのほとんどが夏までには作られています。ですから、出題者が「最新の時事問題」を扱おうとしたら、今話題になっていることがその候補になってくるということになります。

「van Gogh」「Einstein」「Malala Yousafzai」「Gaza」…こんな単語が出てきても大丈夫ですよ？

テストを終えた今こそ、新聞や、いろいろな分野の本を読んで、興味関心の幅を広げましょう！

参加してみませんか？ ～イベント案内～

「アジア高校生架け橋プロジェクト+」国際交流キャンプ

12月13日(土)～16日(火)

校内申込締切:6月9日

内容

日本の歴史、文化、経済、地球温暖化問題、国際関係に関する諸問題等について、来日している100人の留学生と日本人の高校生が特定のテーマについて議論を深め、世界で解決しなければならない答えのない問題について議論するイベント。東京晴海の「L stay and Grow 晴海」で行われます。

対象

高校生

費用

自宅から実施会場までの往復交通費、実施期間中の食費・宿泊費は主催者から支給。

全国で20名の狭き門ですが、遺愛の先輩方にはそれよりもずっと枠の狭いものに選ばれた人たちもいます。興味のある人はチャレンジする価値はあると思います。学校推薦は1名なので、複数の希望があった場合は校内選考を実施します。